

## 近いのに見えない入国管理、 遠いけど近い「コンゴ」!?

10月30日、十三東のスペースなごみで、「難民とコンゴ」をテーマに「第1回淀川トークカフェ」を開催(主催・編集部)。

第1部は、茨木市の西日本入国管理センターに収容されている難民を支援する団体『ウィズ』の住田さんによる、「難民問題入門講座」。第2部では淀川区在住のコンゴ難民の方から、現在の生活やコンゴの状況などについて話をききました。

新聞やテレビでは報道できない話や難民の生の声に、参加者からも活発に質問や意見が出ていました。

参加費の一部と当日のカンパの計12,750円を『ウィズ』に寄付。次回のカフェは2月。「障害と働くこと」をテーマに予定しています。

「センターに収容されてる外国人に人権はないの?」「遠いコンゴは私の生活と関係ないと思っていたけど、毎日使う携帯に使われているレアメタルの主産地だったとは…」。  
意外な話に、熱心に耳を傾ける参加者。「今日聞いたことを友だちにも伝えたい」との感想も。



「皆さん、世界の紛争地と難民に関心を持ってください。それが、問題解決への第1歩」と、コンゴ難民の2人。